

登録コード	E2512900	開講年度	2026				
授業科目	裸婦絵画演習					担当教員	中野 良寿
英文授業名	Seminar in Nude Expression of Painting					副担当	
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育N106		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				美術教育の重要性と可能性を理解し、絵画表現の特徴と魅力を自らが体感するとともに、その教育的意義について見解を持つことが出来るようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				絵画表現の基礎を学ぶと共に絵画芸術における造形性への理解ができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	人物絵画（裸婦）の制作を通して、人体の構造を把握するとともに、その造形性や芸術性を理解し、絵画表現を行う。また、絵画表現の基礎となる骨学や筋学の観点を学び、人体の生命感や力強さ、柔らかさを人体クロッキーやデッサンを通じて絵画制作に必要な技法を習得し、自分なりの絵画観を構築する。						
(5)授業計画	1日目 第1回：ガイダンス（裸婦彫刻の紹介と制作工程の説明） 第2回：クロッキー概要（作品の紹介と総論） 第3回：クロッキー（作品の紹介と実践） 第4回：クロッキー（コラージュ） 2日目 第5回：木炭画（フォルムと美術解剖的理解） 第6回：木炭画（描画材と画面性） 第7回：油彩画（細部と全体感、プロポーション） 第8回：油彩画（動きとバランス） 3日目 第9回：油彩画（造形要素の抽出） 第10回：油彩画（造形要素の抽出） 第11回：油彩画（画面としてのリアリティ） 第12回：油彩画（構造とフォルム） 4日目 第13回：油彩画（絵画表現の造形的要素） 第14回：油彩画講評 授業アンケート 作品提出（クロッキー1点及び絵画作品1点） 教育実習による欠席は、別途補講を行う。						
(6)成績評価の方法	課題作品の評価（80％）、授業への取り組みや学習状況20％を含め評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（ ）授業で示した用具及び素材の使用が適切であり、（ ）素材やその技法を効果的に生かし、（ ）基礎的造形性の把握ができており、（ ）その上で造形表現における楽しさを受講生同士で共感し（ ）作品に主題が表現されていることで教員を感心させるレベルであれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば- 1 -R08 年度【学部】101「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	前授業行った制作の続きと次授業までの制作到達目標の指示に従い、制作を進めてから授業に臨むこと。各回授業内に次授業で必要となる用具や素材の準備等に関して説明を行う。						
(9)履修上の注意	全14回及び作品提出を4日間の集中講義で行う。 材料用具準備等の関係で集中期間前の説明会（日時は掲示にて指示する）に参加すること。 制作において作業に適した服装と材料費が必要となる。 修学状況に応じて授業時間外での制作が必要となる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室 北校舎N217, 連絡先 nakano@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	「デッサンのための美術解剖図」パーチャイ著 エルテ出版(3100円) その他作品集や技法書など随時紹介する。						